

ブラック校則をなくそう！プロジェクト

第2弾 調査結果報告 記者会見

2018年3月8日（木） 麹町グロービスビル4階 14時～15時半

登壇者：渡辺由美子（キッズドア）、荻上チキ（評論家、ストップいじめ！ナビ代表）、
須永祐慈（ストップいじめ！ナビ副代表）、増原裕子（LGBT アクティビスト）

■プロジェクトの進捗状況

1. インターネット署名 29373人（2018年3月8日現在）

「なぜ地毛なのに黒く染めなきゃいけないの-生徒の心身を傷つけるブラック校則をなくして-いきいきと過ごせる学校にしてください」

URL <https://www.change.org/p/なぜ地毛なのに黒く染めなきゃいけないの-生徒の心身を傷つけるブラック校則をなくして-いきいきと過ごせる学校にしてください>

2. ブラック校則をなくそう！HPの設置と、個別事例の収集

<https://www.black-kousoku.org>

個別事例 フォーム 83件 それ以前のメール 11件 合計 94件

3. 社会的調査の実施 詳細別途

■今後のスケジュール

1. 社会的調査の調査分析 詳細版の作成
2. 署名の提出（文部科学大臣あて）
3. 調査結果を基にしたイベント等の実施、書籍化等については検討中

■プロジェクトのスタンス

- ・HPに寄せられている個別事例に対しての介入や、メディア等外部への情報提供は行いません。
- ・校則について、非常にたくさんの方が、様々な経験や意見をお持ちであり、健康被害を誘発させるもの、経済的配慮に欠けるものなど、明らかに時代に合わなくなっているとおもわれるものなども見受けられます。
- ・本プロジェクトは、個別の校則の良し悪しを議論したり、ブラック校則の批判をすることは当初より目的としておりません。学校現場をさらに疲弊させることを最も恐れています。校則や学校独自のルール、また学校現場での指導などについて、今まで長らく注意が払われていなかったものをみんなで見て、考えるきっかけをつくることで、子どもや保護者にとっても学校現場にとっても、地域にとってもより良い学びの場が醸成されることを願っています。

<参考>

■ブラック校則をなくそう！プロジェクトとは？

髪の毛が生まれつき茶色いにも関わらず、教員から黒染めをするよう強要され、精神的苦痛を受けて不登校になった女子高校生が裁判を起こしたという報道をきっかけにこの問題を放置できないと感じた有志で発足したプロジェクトです。

学校現場では、一般社会から見れば明らかにおかしい校則や生徒心得、学校独自ルールなどがあり、それにより多くの生徒が心身の苦痛を被っている事例は度々報道されており、都度話題にはなりますが全国的な改善には向かわず、今も日本各地で繰り返されています。

本プロジェクトは、長年放置されてきたこのような不合理な学校現場のルール（校則、生徒心得、学校ルール等）や、それらを根拠とする過剰な生徒指導を根絶し、子どもたちが安心して生き生きと学べる学校について社会全体での議論を促進し、改善につなげることを目指します。

■プロジェクト期間：

第1期：2017年12月1日～ 2018年3月末日まで

Change.orgの署名を文部科学大臣に提出するまでを第1期とします。

* 調査のボリュームアップ等により第1期の期間は延長する見込みです。

<メンバー>

事務局

- NPO 法人ストップ！いじめナビ
- 増原裕子（株式会社トロワ・クルール代表取締役）
- NPO 法人キッズドア 理事長 渡辺由美子

<アドバイザー>

荻上チキ（評論家）

<賛同人> 賛同人についてはHPをご覧ください。

<協力> 一般財団法人村上財団・change.org

<メディアパートナー> バズフィード・ジャパン

以上

この資料に関する問い合わせ：

ブラック校則をなくそう！プロジェクト 須永（ストップいじめ！ナビ）

090-9826-4286 contact@black-kousoku.org